



平成 24 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社東急レクリエーション  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 仁  
(コード番号 9631 東証第2部)  
問合せ先 取締役常務執行役員財務部長 石崎 達朗  
(TEL 03-3462-8870)

(訂正)「平成 23 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が平成 24 年 2 月 13 日に開示いたしました「平成 23 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

- 1 添付資料 20 ページ  
4. 連結財務諸表  
(8) 連結財務諸表に関する注記事項  
(連結貸借対照表関係)

【訂正前】

前連結会計年度 (平成22年12月31日)	当連結会計年度 (平成23年12月31日)
※2 担保資産及び担保付債務 建物及び構築物 812,356千円 上記は受入保証金100,000千円の担保に供して おります。	※2 担保資産及び担保付債務 建物及び構築物 776,291千円 上記は流動負債その他(預り金) <u>850,250千円</u> の担 保に供しております。

【訂正後】

前連結会計年度 (平成22年12月31日)	当連結会計年度 (平成23年12月31日)
※2 担保資産及び担保付債務 建物及び構築物 812,356千円 上記は受入保証金100,000千円の担保に供して おります。	※2 担保資産及び担保付債務 建物及び構築物 776,291千円 上記は流動負債その他(預り金) <u>85,250千円</u> の担 保に供しております。

2 添付資料 27 ページ

4. 連結財務諸表

(8) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

【訂正前】

当連結会計年度(自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	映像事業	スポーツ・ レジャー事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,095,533	5,098,022	8,538,589	25,732,144	1,348,135	27,080,280	—	27,080,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	58,398	58,398	916,751	975,149	△975,149	—
計	12,095,533	5,098,022	8,596,987	25,790,542	2,264,887	28,055,430	△975,149	27,080,280
セグメント利益 又は損失(△)	△668,319	53,852	1,068,120	453,652	50,324	503,977	△948,689	△444,711
セグメント資産	12,273,465	<u>2,635,170</u>	25,769,991	<u>40,678,628</u>	376,285	<u>41,054,913</u>	<u>4,045,830</u>	45,100,744
その他の項目								
減価償却費	842,186	118,198	447,164	1,407,549	28,268	1,435,818	17,235	1,453,053
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,225,527	93,105	2,692,883	5,011,516	55,893	5,067,410	7,203	5,074,613

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業、アミューズメント事業、ランキン事業を含んでおります。ランキン事業は、平成 23 年 5 月 1 日に東京急行電鉄(株)より事業譲受した新規事業セグメントであります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△948,689 千円には、セグメント間取引消去△1,185 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△947,503 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額 4,045,830 千円には、セグメント間取引消去△87,701 千円、各報告セグメントに配分していない全社資産 4,133,531 千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券等)、繰延税金資産及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額 17,235 千円には、セグメント間取引消去△180 千円、各報告セグメントに配分していない全社減価償却費 17,416 千円が含まれております。全社減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 7,203 千円には、セグメント間取引消去△750 千円、各報告セグメントに配分していない全社資産 7,953 千円が含まれております。全社資産の増加額は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る資産の増加額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

## 【訂正後】

当連結会計年度(自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	映像事業	スポーツ・ レジャー事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,095,533	5,098,022	8,538,589	25,732,144	1,348,135	27,080,280	—	27,080,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	58,398	58,398	916,751	975,149	△975,149	—
計	12,095,533	5,098,022	8,596,987	25,790,542	2,264,887	28,055,430	△975,149	27,080,280
セグメント利益 又は損失(△)	△668,319	53,852	1,068,120	453,652	50,324	503,977	△948,689	△444,711
セグメント資産	12,273,465	<u>2,421,170</u>	25,769,991	<u>40,464,628</u>	376,285	<u>40,840,913</u>	<u>4,259,830</u>	45,100,744
その他の項目								
減価償却費	842,186	118,198	447,164	1,407,549	28,268	1,435,818	17,235	1,453,053
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,225,527	93,105	2,692,883	5,011,516	55,893	5,067,410	7,203	5,074,613

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業、アミューズメント事業、ランキン事業を含んでおります。ランキン事業は、平成 23 年 5 月 1 日に東京急行電鉄(株)より事業譲受した新規事業セグメントであります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△948,689 千円には、セグメント間取引消去△1,185 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△947,503 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額 4,259,830 千円には、セグメント間取引消去△87,701 千円、各報告セグメントに配分していない全社資産 4,347,531 千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券等)、繰延税金資産及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額 17,235 千円には、セグメント間取引消去△180 千円、各報告セグメントに配分していない全社減価償却費 17,416 千円が含まれております。全社減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 7,203 千円には、セグメント間取引消去△750 千円、各報告セグメントに配分していない全社資産 7,953 千円が含まれております。全社資産の増加額は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る資産の増加額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

以上